

第28回

東海北陸理学療法学術大会

大会誌



理学療法のポテンシャリティ

~ 臨床技術の高い専門職を目指して~

- 会期 2012年 11月10日王·11日日
- 会場 四日市市文化会館
- 大会長 高橋 猛 鈴鹿 医療科学大学 保健衛生学部理学療法学科
- 主催 公益社団法人 日本理学療法士協会 東海北陸ブロック理学療法士協議会
- 担当 一般社団法人 三重県理学療法士会

ISSN 1348-7493 Tōkai Hokuriku Rigaku Ryōhō Gakujyutsutaikaishi 病院長 施設長 様 所属機関の長

第28回東海北陸理学療法学術大學28回東海北陸理学療法学術大學連続业陸 大会長高橋 建門際橋 準備委員長南出光章海線小局

第28回東海北陸理学療法学術大会出張許可のお願い

謹啓

仲秋の候、貴職におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。 平素より本会会員の理学療法士にご指導ご鞭撻を賜り、厚くお礼申し上げます。 この度、下記により第28回東海北陸理学療法学術大会を開催する運びとなりました。つきましては、ご多忙中誠に恐縮ではございますが、貴職員 学術大会出張につきまして、格段のご配慮を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。 謹 白

記

開催期日: 平成24年11月10日(土)~11月11日(日)

開催場所:四日市市文化会館 四日市市安島2-5-3

内 容: 11月10日(土) 大会長基調講演・プレコングレス・教育セミナー・

共催セミナー

(主題・一般)口述発表・ポスター発表

11月11日(日) 特別講演・教育セミナー・共催セミナー・

市民公開講座

(主題・一般)口述発表・ポスター発表

主 催:公益社団法人 日本理学療法士協会 東海北陸ブロック理学療法士協議会

担 当:一般社団法人 三重県理学療法士会

大会事務局: 〒514-0826

三重県津市野田 2033-1 しおりの里デイケアセンター内

第28回東海北陸理学療法学術大会 事務局 TEL 059-239-1317 FAX 059-239-1320

第28回

東海北陸理学療法学術大会

大会誌



理学療法のポテンシャリティ

~臨床技術の高い専門職を目指して~

- 会期 2012年 11月10日土·11日日
- 会場 四日市市文化会館
- 大会長 高橋 猛 鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部理学療法学科

主催: 公益社団法人 日本理学療法士協会 東海北陸ブロック理学療法士協議会

担当:一般社団法人三重県理学療法士会

後援:三重県、四日市市、三重県医師会、四日市医師会、三重県看護協会、

三重県介護支援専門員協会、三重県作業療法士会、三重県言語聴覚士会、

三重県社会福祉協議会、三重県国民健康保険連合会

INDEX

ご 挨 拶1
参加者へのお願い
発表者へのご案内6
座長の方々へのお願い7
会場周辺案内図8
会場案内図9
日 程 表
特別企画 プログラム 1日目12
特別企画 プログラム 2日目
一般演題 プログラム 1日目 ······· 16
一般演題 プログラム 2日目 28
大会長基調講演39
特別講演
プレコングレス45
市民公開講座
教育セミナー
共催セミナー57
主題演題 抄録63
一般口述 抄録71
ポスター 抄録104
賛助・協賛ご芳名 158
第28回東海北陸理学療法学術大会組織図160
運営スタッフ一覧 160

ご挨拶

第28回東海北陸理学療法学術大会 大会長 高橋 猛

この度、平成24年11月10日(土)~11日(日)の2日間、三重県四日市市で第28 回東海北陸理学療法学術大会を開催させて頂きます。

今回のテーマは"理学療法のポテンシャリティ~臨床技術の高い専門職を目指して ~"という大きな目標を掲げました。理学療法士の会員数は10年前2万8千の会員が 平成24年4月には7万7千人と急激に増加しており、組織が飛躍的に大きくなっており ます。また近年の医療の進歩はめまぐるしいものがあります。そこで今一度原点に立 ち戻り、理学療法の潜在性(ポテンシャリティ)を見つめ直し、医療介護の現場で理学 療法士の専門性を向上させる目的にて第28回の学術大会を開催することに致しました。

本学術大会は、主題演題として発表及び討議時間を合わせて15分間と一般口述発 表より時間を多くとりミニシンポジュウムのような形をとりテーマに沿った議論が出 来る場を設定致しました。教育セミナーにおいても理学療法士の臨床現場に沿った分 野に対して協会を代表する諸先生にご講演をお願い致しました。諸先生より基本的知 識のもと最新のトピックス、将来の理学療法、新しい分野と本テーマに直結した内容 が、拝聴できる意義のあるセミナーを企画致しました。

また、本年は医療保険・介護保険の同時改定が行われております。理学療法士は職 能団体であり、自己の専門性の維持・向上が重要な責務であると同時に専門職として の待遇や利益を保持・改善するためには、診療報酬及び介護報酬の仕組みにおいても 熟知する必要性を考え、協会本部より医療保険部長・介護保険部長であられる吉田久 雄先生・前園徹先生に改定による今後の展望に対するご講演をお願い致しました。

テーマに沿った議論・セミナーを拝聴され、加えて介護診療報酬制度の再確認をさ れることによって、理学療法士の身分を確立し、社会的役割を確固たるものになるこ とを願って大会を開催致します。本大会が実りの大きい学術大会となるよう会員一同 精一杯、大会の準備・運営にあたりますので、いろいろな角度から学術大会を楽しん でいただけるものと信じています。四日市でお会いできることを楽しみにしています。

最後に昨年3月11日に東日本大震災という過去に類のない大災害がございました。 被災された皆様へ心からお見舞い申し上げます。私自身も昨年、仮設住宅を訪ね被災 地の現状を目の当たりにして、長期的な支援体制の必要性を強く感じました。被災さ れた地域や皆様の一日も早い復興とご健康の回復をお祈りしております。

ご挨拶

公益社団法人日本理学療法士協会 会 長 半田 一登

28回目を迎えます東海北陸理学療法学術大会が、三重県理学療法士会の担当で開催されますことに、心よりお慶びを申し上げます。

今年、神戸で開催されました第47回日本理学療法学術大会は約1,500題の演題発表があり、参加者総数は7,000名を大きく上回りました。この演題の審査では4分の1の応募者が発表の機会を得ることができませんでした。演題数の削減につきましては、理事会等で繰り返し論議を行い、演題の質を担保することをめざし、断行することにしました。しかし、この決定には異論があり、せっかくの意欲を削ぐことになるという意見が中心でした。

今後、都道府県理学療法士会における学術大会、ブロックにおける学術大会、全国での学術大会がそれぞれに機能分担しながら、理学療法士の学術・研究体制を整備しなければなりません。東海北陸ブロックにありましても、新人会員達の登竜門的な役割を持ちながら、多くの演題発表が行われることを期待しております。

平成24年の診療報酬と介護報酬の同時改定が終わり、その結果に一喜一憂している現状だと思います。しかし、厚生労働省は早くも次期改定に向けて、大きく踏み出しています。最たるものの一つは、外来リハビリテーション時に導入された「包括的指示」です。厚生労働省医政局主催のチーム医療推進会議で「包括的指示とは医師が患者の病態の変化を予測し、その範囲内で実施すべき行為をプロトコールを用いる等により事前に指示すること」と定義づけしました。また、その運用は「指示書によるものだけではなく、口頭指示や電話による指示も含む」とされました。このような定義下における包括的指示が現場で活用されるか否かは重大な関心が払われています。もう一点は、急性期の定義づけです。現状では、「急性期」の定義づけに手間取っていますが、その方向性には重大な関心が必要です。一部の中医協委員からは、命にかかわる医療こそが急性期医療であり、その部分に集約的に医療費を投入することが言われています。リハビリテーション医療は急性期以外に分類されている現状を見たときに危機感が募ります。理学療法を予防理学療法・治療理学療法・リハビリテーション理学療法と分類する必要性が高まっています。

東海北陸理学療法学術大会が、これまでの伝統を引き継ぎつつ、これからの方向性 を踏まえた学術大会として更に発展されることを期待しております。

ご挨拶

東海北陸ブロック理学療法士協議会 代表理事 鳥山 喜之

第28回東海北陸理学療法学術大会が、高橋猛大会長のもと三重県理学療法士会の 担当により四日市市で開催されますことを心からお慶び申し上げます。

平成23年6月30日の政府・与党社会保障改革検討本部における「社会保障・税一 体改革成案」決定は、医療・介護機能の再編をもたらし、保健・医療・福祉の分野 で働く我々理学療法士も大きな影響を受けることになります。病気になっても職場や 地域生活へ早期復帰し、また、医療や介護が必要になっても住み慣れた地域での暮ら しを継続できる仕組みの始まりです。限られた医療介護資源の中で、高齢者単身世帯 の増加に伴い、看取りを含んだ在宅医療と在宅介護の連携と充実が望まれています。

平成24年度の診療報酬・介護報酬は、回復リハビリテーション病院や老人保健施 設などの在宅復帰率等の成果報酬の導入、入院医療より在宅医療を重視する点数配分 による在宅重視の姿勢、病院以外も老人保健施設や在宅で看取り等が大きな特色です。 回復期リハビリテーション」病院では医療依存度が高い患者やより急性期に近い患 者が対象となることは避けられません。ADL 主体の訓練でなく機能障害に対するア プローチや、呼吸管理が求められ、介護老人保健施設でも、在宅復帰を考えた理学療 法の内容が重要で、福祉用具、住宅改修の知識がより必要となります。

今大会のテーマは『理学療法のポテンシャリティ~臨床技術の高い専門職を目指 して~』と題して、理学療法士の社会的立場を明確にし、自分の専門性を高め、医療 福祉分野で理学療法を通して貢献することを目的としています。我々の「強み」を 高め、会員一人ひとりが常に自己研鑽を怠ることなく高い専門性を発展させ、また、 理学療法が科学的根拠に基づく技術として確立していく「機会」となることでしょう。

美し国三重は、リアス式海岸等豊かな自然に恵まれ、また、自然と共存した熊野古 道・伊勢神宮等の歴史や文化が多く、古来より、「御食つ国」(みけつくに)と呼ばれ、 アワビやサザエ等を皇室・朝廷に献上するなど魚介類が豊かで、また、松坂牛、伊賀 牛の産地でもあります。豊かな自然と歴史文化や食べ物を通じ人と関わることも、潜 在能力を高め人格を形成することに意義あると思います。

最後に、東海北陸理学療法学術大会が、理学療法発展のため、また急激に増加する 若い世代の理学療法士の資質研鑽の場となるよう期待するととともに、今大会が盛会 に開催されますことを祈念いたします。

参加者へのお願い

1. 参加登録について

1)参加受付

受付場所	日 時
展示棟 第3展示室	11月10日(土) 9:20~18:00
茂小保	11月11日(日) 8:40~15:00

【日本理学療法士協会会員の方】

- 東海北陸7県の方は、<u>協会会員カードでの受付となります。カードをご持参いただき、参加受付</u> にてご提示ください。
- カードをお忘れになった場合、氏名や会員番号等での検索が必要となり、お時間がかかることが ございます。円滑な参加受付のため、ご協力をお願い致します。
- 東海北陸7県以外の方は、参加受付前の記載台に備え付けの参加受付用紙をご記載いただき、参加受付にてご提出ください。
- なお、本誌には、参加受付用紙を添付しておりませんのでご了承ください。

【学生・非会員】

• 参加受付前の記載台に備え付けの参加受付用紙をご記入いただき、参加受付にてご提出ください。

2)参加費

区分	参加費
会 員	5,000円
学生(理学療法士課程 養成校)	1,000円
	6,000円

- ・参加受付にて参加費をお支払いください。その場で、ネームカード(参加証)をお渡しいたします。
- 学生の方は、参加受付にて学生証をご提示ください。お忘れの場合、参加費区分は非会員となりますのでご注意ください。

2. 昼食について

各自でご用意ください。当日、お弁当の販売を予定しております。

3. 飲食および喫煙について

- 飲食は所定の場所でお願いします。
- 館内は禁煙となっております。喫煙は所定のスペースをご利用ください。

4. クロークのご案内

場所	日時
展示棟 第4展示室	11月10日(土) 9:20~18:20
成小保 第4成小至 	11月11日(日) 8:40~16:00

5. 機器展示について

場所	日時				
本館 1階	11月10日(土) 9:20~18:00				
エントランスホール	11月11日(日) 8:40~16:00				
 本館 2階	11月10日(土) 9:20~18:00				
第1ホール前ホワイエ	11月11日(日) 8:40~16:00				

6. 専門・認定理学療法士履修ポイントおよび新人教育プログラム単位認定について

- 専門・認定理学療法士履修につきましては、日本理学療法士協会ニュースをご参照ください。
- 教育セミナー1~5は新人教育プログラムの下記項目が単位として認定されます。セミナー終了時に 各会場にて認定を行います。協会会員カードの受付となりますので、希望される方は必ずご持参くだ さい。

教育セミナー1(10日 16:30~18:00会場 A): C-2 運動器疾患の理学療法

教育セミナー2(10日 16:30~18:00会場 B): C-3 内部障害の理学療法

教育セミナー3(10日 16:30~18:00会場 C): C-5 地域リハビリテーション(生活環境支援含む)

教育セミナー4(11 日 14:10~15:40会場 A): C-1 神経系疾患の理学療法

教育セミナー5(11 日 14:10~15:40 会場 C): C-3 内部障害の理学療法

7. 宿泊について

ご希望の方は、本大会ホームページよりお申込みいただけますので、ぜひご利用ください。

8. その他

- 本大会では、託児所を準備しておりません。ご了承ください。
- 会場内での携帯電話のご使用は、発表や質疑応答の妨げとなりますので、必ず電源をお切りいただく か、マナーモードに設定してください。
- 会場内での録画・録音は、講演者や発表者の著作権保護や対象者のプライバシー保護のため、原則と して禁止させていただきます。
- 質問者のマイクは据え置きにしてあります。質問のある方はスタンドマイクの前まで移動して質問を 行ってください。積極的な質疑応答をお願いします。
- 会場内での呼び出しは原則として行いません。
- 貴重品・傘などのお預かりはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 書籍販売は、本館2階ホワイエにて行います。
- 抄録は、大会期間中大会ホームページよりご覧になれます。
- 会館の駐車場は、台数に限りがございます。できる限り公共交通機関をご利用ください。

発表者へのご案内

1. 主題演題・一般口述演題演者へのお願い

- 液晶プロジェクターを使用し、コンピュータによるプレゼンテーションで発表していただきます。
- 作成したプレゼンテーションファイルは CD-R に保存し、下記の大会担当者宛てに郵送してください。
- CD-R 本体には、演題番号、演題名、所属、演者名をご記入ください。

締切: 平成24年10月26日(金)(必着)

〈CD-R 郵送先〉

〒510-0293 鈴鹿市岸岡町1001-1 鈴鹿医療科学大学 理学療法学科 第28回東海北陸理学療法学術大会運営局会場部 中俣 孝昭 宛

〈お問い合わせ〉

大会運営局メールアドレス: toukaihokuriku28kaijoubu@yahoo.co.jp

- •1演題のファイルは60MBまでとします。特に枚数制限はありませんが、発表時間に収まるように注意してください。
- プレゼンテーションソフトは、Microsoft Power Point 2010を使用します。発表用データは Microsoft Power Point 2007・2010で作成してください。他のアプリケーションは使用できません。また、動画の使用はできません。静止画像を使用する場合は、JPEG 形式としてください。
- 機種依存文字、半角カタカナ、外字は使用しないでください。使用可能な文字種については、大会ホームページ「演題募集要項」の「文字種の注意」を参照してください。
- •プレゼンテーションファイルは、事前に一度保存したものを他のコンピュータ(OS: Windows7、 Microsoft Power Point 2010)で動作確認してください。大会当日にプレゼンテーションファイルの確認、変更は一切行いませんので、事前に十分に確認してください。
- ・上記の内容に従って作成しなかった場合、当日正常にファイルが動かないなどトラブルが生じても一 切責任は負えません。また、ファイルトラブルによる時間延長もありませんのでご了承ください。

【大会当日】

- プレゼンテーションファイルの CD-R の返却は行いません。大会側で責任を持って処分させていただきますので予めご了承ください。
- 演題発表者の受付は該当セッション開始30分前までに「演者・座長受付」にて登録を済ませ、開始 10分前までに次演者席にお越しください。
- 発表は Windows コンピュータ (OS: Windows7) を使用しますのでご了承ください。コンピュータは 大会主催者側で準備します。
- 発表時、プレゼンテーションファイルの操作は演者自身で行ってください。やむを得ない場合は、事前に総合受付に申し出ていただき操作担当者を1名準備してください。
- ・主題演題発表は、8分間の発表時間と7分間の質疑応答があります。
- 一般口述発表は、6分間の発表時間と4分間の質疑応答があります。
- 発表終了1分前および終了時間にタイマーを鳴らします。発表時間の厳守をお願いします。

2. ポスター演題演者へのお願い

- 発表セッション開始30分前までに「演者・座長受付」で 登録をすませてください。
- ・ポスターの貼付面のサイズ(本文、図表)は縦160cm、横 90cmです。(図参照)
- 演題番号部分を除き、演題名、所属、氏名は縦 20cm、横 70cmのサイズ内で作成して下さい。(図参照)
- パネルの演題番号、ポスター貼付に伴う備品(画鋲など) は大会側で用意してあります。
- パネル上に直接、図表や文字を書かないでください。
- ポスター演題演者は指定された時間に従い、各自でポスター を貼付、撤去してください。時間内に撤去がない場合は大 会側で処分させていただきますので予めご了承ください。

ポスター貼付時間:平成24年11月10日(土)

 $10:00\sim13:00$

ポスター撤去時間:平成24年11月11日(日)

 $14:10 \sim 16:00$

- 当該セッション10分前までに各自ポスター前で待機して ください。なお当該セッション中はその場を離れないよう に注意願います。
- 5分間の口頭発表と3分間の質疑応答があります。座長の指示に従ってください。

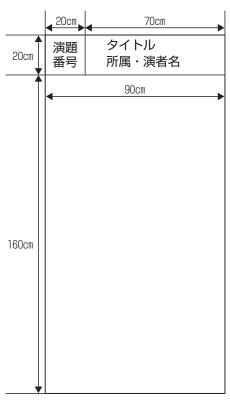
3. 第28回東海北陸理学療法学術大会賞に関する案内

本学術大会において、優秀な演題は東海北陸理学療法学術大会賞として表彰いたします。 発表内容に理学療法学への貢献度等、内容が優秀であると認められる演題に対して、優秀賞3名(うち 1名を最優秀賞)を閉会式にて表彰いたします。

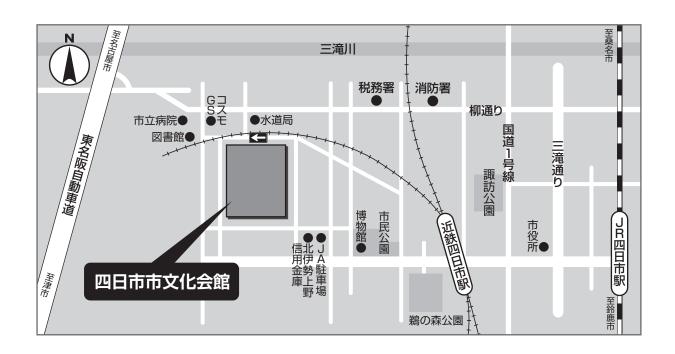
座長の方々へのお願い

- 担当セッションの開始30分前までに「演者・座長受付」にて登録を済ませ、開始10分前まで に次座長席(口述演題)またはポスター前(ポスター演題)にお越し下さい。
- 主題演題発表は、1演題につき8分間の発表時間と7分間の質疑応答を設定しています。
- 一般口述発表は、1演題につき6分間の発表時間と4分間の質疑応答を設定しています。
- ポスター発表は1演題につき5分間の発表時間と3分間の質疑応答を設定しています。
- 座長は担当セッションが円滑に進行するようにご配慮願います。
- 不測の事態にて、座長職務が遂行不可能と判断された場合には、速やかに「演者・座長受付」 までご連絡ください。
- 発表内容が抄録と大幅に異なる場合には、その場で厳重に注意してください。
- 担当セッションにおいて、学術大会賞に該当する演題の推薦をお願いします。

ポスター規格

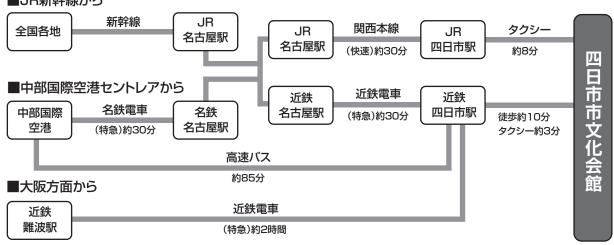


会場周辺案内図



会場へのアクセス





■近鉄電車でお越しの方 ………「近鉄名古屋」駅から「近鉄四日市」駅

特急で29分(運賃610円・特急料金500円)

急行で33分(運賃610円) 普通で68分(運賃610円)

➡「近鉄四日市」駅より徒歩10分(タクシーで約3分)

■JRでお越しの方······ 「JR名古屋 |駅から「JR四日市 |駅

快速で約30分(運賃460円) → 「JR四日市」駅よりタクシーで約8分

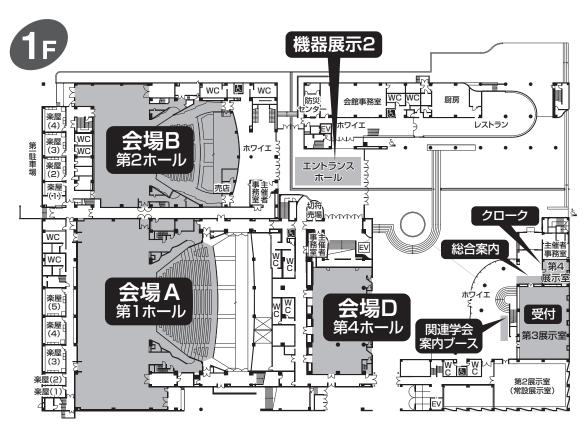
■ 自動車でお越しの方………… 東名阪自動車道「四日市IC」より約15分(7km)

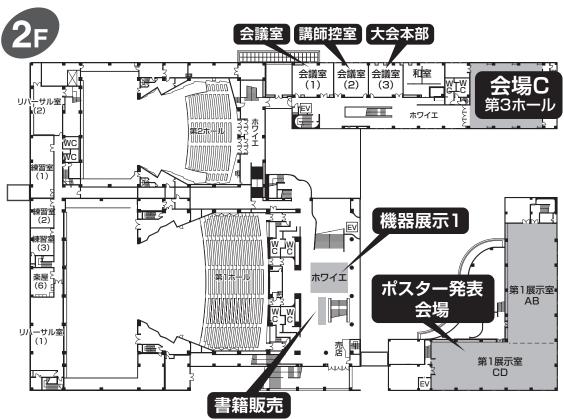
※大会には公共交通機関をご利用いただきお越しください(駐車場は台数に限りが

あります)。

会場案内図

四日市市文化会館





1日目 11月10日 四日市市文化会館

l.							
	会場 A ^{第1ホール}	会場 B ^{第2ホール}	会場 C 第3ホール	会場 D ^{第4ホール}	ポスター会場 第1展示室	エントランス 第1ホール	会議室
9:20 [第2ボール)	第3ボール	第4小一ル	第1股小主	ホワイエ	
	9:20~ _ 開場・受付開始 _						
10:00	- 用物"文门用知 -					† I	
	10:20~11:50	10:20~11:50					
	プレコングレス 1	プレコングレス 2				<u> </u>	
	スポーツと	日常動作の				9:20	
	理学療法	日帯勁狂の 再学習				18:00	
11:00	- 〜外傷予防から 競技復帰まで理	H F				 	
	競技優滞まで埋 学療法士に何が	講師:冨田 昌夫 司会:田中 紀行			10:00~13:00		
	できるのか~					機	
	講師:小林 寛和 司会:島田 隆明				ポスター		
	可云 一两山 座 切				貼り付け	器	
12:00	[∦ _{ਜ਼} ∦	
	12:05~12:55					展	
	共催セミナー1 - 四肢外傷の単純-	講師: 浅野 昭裕				』_示 	
	- 四成外傷の単純- X線像が読めると	■ 司会:山本 良次 共催:三重県理学织	 			"	
	運動療法が変わる	八催 · 二重永垤于	F/ZIZ				
13:00							
13.00	13:00~13:30				13:00~14:00		_
	開会式		L		ポスター掲示		
		理学療法の			 ポスター1 運動	 器系 P-1	1~7
	13:30~14:00	ポテンシャリティ			座長	: 舟坂 浩史	ti
	大会長 + 基調講演	★ 大会長: 高橋 ¾ 司会: 鳥山 喜菜			ポスター2 運動 ^{座長}		
14:00					₩ ポスター3 生活	環境支援系 P	-15~21
	14:00~15:00	14:00~15:00	14:00~15:00	14:00~15:00	座長 ポスター4 神経	:水上 正樹	
	主題演題 1	一般口述 1	一般口述 2	一般口述 3		宋 「-22 : 青山 満喜	\$
	運動器系	内部障害系	基礎系	神経系	14:00~15:00	1	
	S-1~4	0-1~6	O-7~12	O-13~18	ポスター発表		14:30
	座長:松本 正知	座長:加藤 倫卓	座長:石田 和人	■ 座長:森嶋 直人 ■	ポスター1~4		16:30
15:00							∦ _ਤ ∦
	15:10~16:10	15:10~16:10	15:10~16:10	15:10~16:10	15:10~16:10		ロッ
		II I	II .	II I	13.10 - 10.10		 ク 協
ŀ		主題演題 2	一般口述 5 生活環境支援系	一般口述 6 物理療法・	ポスター発表		協
	座 到 命 示 ○ -19~24	71m障音亦 S-5~8	生间垛块又饭床 O-25~30	初程療伝・ 教育管理系	ポスター5~7		議
10.00	座長:福田 泰典			O-31~36	1		
16:00	上 注及: 個田 水光			座長: 日比野 至			†
				ポスタ	-5 基礎系 P-28 ~ 座長:西田 裕介		
	16:30~18:00	16:30~18:00	16:30~18:00	ポスタ	-6 神経系 P-35 ℃	~40	
	教育セミナー 1	教育セミナー 2 内部障害系	教育セミナー 3 生活環境支援系	ポフタ	座長: 片田 志保 一7 運動器系 P-4		
17:00	運動器系 運動器超音波	内部厚音末 高齢心疾患患者	わが国在宅リハビ	***	座長:間所 昌嗣		
	が時代を変える	に対する理学療法	リテーションの未				
	~超音波解剖と運	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	来 ~10年後に向け て在宅リハで療法士				
	動療法との接点~ 講師:林 典雄	釈し、何を行うか〜 講師:高橋 哲也	が求められる資質~				
	司会:熊谷 匡晃	司会:野呂陽子	講師:塩中 雅博 司会:白石 成明				
	新人教育プロ	'' グラム認定対象セミ					
18:00		ナー1: C-2 運動器疾					
		ナー2 : C-3 内部障害 ナー3 : C-5 地域リハ					
Į							

2日目 11月11日 四日市市文化会館

l								
	会場 A ^{第1ホール}	会場 B ^{第2ホール}	会場 C ^{第3ホール}	会場 D ^{第4ホール}	ポスター会場 第1展示室	エントランス 第1ホール ホワイエ	会議室	
8:40	8:40~							
9:00	_ 開場・受付開始 _					↓		
	9:10~10:10	9:10~10:10	9:10~10:10	9:10~10:10	9:10~10:10			
	主題演題 3	一般口述 7	一般口述 8	一般口述 9		8:40		
	基礎系	運動器系	神経系	生活環境支援系	│ ポスター発表 │	16:00		
	S-9~12	O-37~42	O-43~48	O-49~54	ポスター8~11			
	座長: 畠中 泰彦	座長:飯田 博己	座長:森下 一幸	座長: 二井 俊行		II I		
10:00	1			†		機		
						l I		
	10:15~ 次期大会長挨拶			ポスター8 運動	器系 P-48~54 小林 敦郎	器		
					7746 教命 障害系 P-55~61	╫╶╏	10:30	
	10:30~11:45	人维热哪里	L 人後の屋間		松井伸公	展	5	
	特別講演	介護報酬改定 講師:前			環境支援系 P-62~68 芦田 勝文	∥ _ I	11:30	
11:00	137736925	日本理学療法士協会職	战能局介護保険部部長	ポスター 11 混合	領域 P-69~74	示	次期大会引継ぎ	
	司会: 髙山文博	診療報酬改定 講師:吉		<u> </u>	井出 宏		숲	
	赤尾和則	日本理学療法士協会職	出				引	
	_ _						ぎ	
12:00	_	10:05 10:55	40:05 40:55			† t	12:00	
		12:05~12:55 共催セミナー2	12:05~12:55 共催セミナー3				13:00	
	講師:葛原 茂樹	レビー小体病の	フィンランド発の					
	- 司会:中 徹 → 共催:	臨床·病態·治療	足病学専門理			-		
	☆鹿医療科学大学 鈴鹿医療科学大学	~パーキンソン病 からレビー小体型	学療法「フィン ソールケアシス	講師:大田 幸作司会: 直江 祐樹			習	
		認知症まで~	テム」とは	共催:インターリハ			生涯学習部会議	
13:00						╂	譲	
	13:00~14:00		13:00~14:00	13:00~14:00	13:00~14:00			
	主題演題 4		一般口述 10	一般口述 11	ポスター発表			
	神経系		内部障害系	運動器系	ポスター 12 ~ 14			
	S-13~16		O-55~60	O-61~66				
	座長:谷野 元一		座長:小川 智也	■ 座長:伊藤 直之		∥		
44.00					ポスター 12 基礎	··· ■ 系 P-75~	-81	
14:00					座長	小島 誠		
	14:10~15:40	14:10~15:40	14:10~15:40		ポスター 13 運動 _{座長}	器糸 P-85 : 工藤 慎太		
	教育セミナー 4	市民公開講座	教育セミナー 5		ポスター 14 生活環	環境支援系 P-	-89~95 L	
	神経系	 健康で美しくあ	┃ がんのリハビリ ┃		座長	:岸本 泰樹		
	潜在的可能性	るために	がんの理学療法			∥ [
15:00	を顕在化する	 講師 : 武田 美保	□~病態理解と体力 □ コンディショニング~		14:10~16:00	∦ ŀ		
	講師: 吉尾 雅春 司会: 大橋 秀樹	司会:奥山 夕子	講師:増田 芳之		ポスター撤去	∥ [
	2 4 lb4 24 lb4		司会:山田高士郎			∥		
	∤ 	H I			H	H		
	15:40~ 閉会式					∥ [
16:00	NIXIC							
1	新人教育プログ	<u></u>						

新人教育プログラム認定対象セミナー

教育セミナー4: C-1 神経系疾患の理学療法 教育セミナー5: C-3 内部障害の理学療法

特別企画 プログラム

11月10日(土)

開場・受付開始 9:20~

プレコングレス 1 10:20~11:50

会場 A (第1ホール)

司会:島田 隆明(ユマニテク医療福祉大学校)

スポーツと理学療法 外傷予防から競技復帰まで理学療法士に何ができるのか

小林 實和 日本福祉大学

プレコングレス2 10:20 \sim 11:50

会場 B (第2ホール)

司会:田中 紀行(主体会病院)

「日常動作の再学習]

冨田 昌夫 藤田保健衛生大学

共催セミナー 1 12:05~12:55

会場 A (第1ホール)

司会:山本 良次(伊勢市立伊勢総合病院)

「四肢外傷の単純 X 線像が読めると運動療法が変わる]

浅野 昭裕 碧南市民病院

共催:三重県理学療法士会

開会式 13:00~13:30

大会長基調講演 13:30~14:00

会場 A (第1ホール)

司会: 鳥山 喜之(東海北陸ブロック理学療法士協議会 代表理事) (第29回東海北陸理学療法学術大会 大会長)

[理学療法のポテンシャリティ]

高橋 猛 第28回東海北陸理学療法学術大会 大会長

司会: 熊谷 匡晃(JA 三重厚生連鈴鹿中央総合病院)

「運動器超音波が時代を変える 〜超音波解剖と運動療法との接点〜

林 典雄 中部学院大学

教育セミナー2(内部障害系) 16:30~18:00

会場 B(第2ホール)

司会:野呂 陽子(地方独立行政法人三重県立総合医療センター)

[高齢心疾患患者に対する理学療法 ~何を評価し、どう解釈し、何を行うか~]

高橋 哲也 東京工科大学

教育セミナー3(生活環境支援系) 16:30~18:00

会場 **C**(第3ホール)

司会: 白石 成明(日本福祉大学)

「わが国 在宅リハビリテーションの未来 ○10年後に向けて在宅リハで療法士が求められる資質~

塩中 雅博 ポシブル医科学株式会社

特別企画 プログラム

11月11日(日)

開場・受付開始 8:40~

次期大会長挨拶 10:15~

特別講演 10:30~11:45

会場 A (第1ホール)

司会: 髙山 文博(高田福祉事業協会)

赤尾 和則(地方独立行政法人桑名市総合医療センター 桑名西医療センター)

「介護報酬改定と今後の展望]

前園 徹 日本理学療法士協会職能局 介護保険部部長

「診療報酬改定と今後の展望]

吉田 久雄 日本理学療法士協会職能局 医療保険部部長

共催セミナー2 12:05~12:55

会場 B(第2ホール)

司会:中 徹(鈴鹿医療科学大学)

「レビー小体病の臨床・病態・治療 ∼パーキンソン病からレビー小体型認知症まで~

葛原 茂樹 鈴鹿医療科学大学

共催: 鈴鹿医療科学大学

共催セミナー3 12:05~12:55

会場 C (第3ホール)

司会: 直江 祐樹(三重大学医学部附属病院)

「フィンランド発の足病学専門理学療法 「フィンソールケアシステム」とは

大田 幸作 インターリハ株式会社フィジオセンター

共催:インターリハ株式会社

司会:大橋 秀樹(長島中央病院)

[潜在的可能性を顕在化する]

吉尾 雅春 千里リハビリテーション病院

教育セミナー5(がんのリハビリテーション) 14:10~15:40

会場 C (第3ホール)

司会:山田高士郎(JA 三重厚生連松阪中央総合病院)

[がんの理学療法 ~病態理解と体力コンディショニング~]

増田 芳之 静岡県立静岡がんセンター

市民公開講座 14:10~15:40

会場 B (第2ホール)

司会: 奥山 タ子(藤田保健衛生大学七栗サナトリウム)

[健康で美しくあるために]

武田 美保 元女子シンクロナイズドスイミング日本代表選手

閉会式 15:40~

・般演題 プログラム

11月10日(土)

主題演題 14:00~15:00

会場 A (第1ホール)

「運動器系]

座長:松本 正知(地方独立行政法人桑名市総合医療センター 桑名西医療センター)

S-01 大腿骨近位部骨折患者の退院後機能予後 一年齢と退院後のリハビリテーションの影響―

- ○楠 美樹¹⁾、青柳 陽一郎²⁾、岡西 哲夫³⁾、平塚 智康¹⁾、粥川 知子¹⁾、菊池 航¹⁾、 井元 大介1)、日沖 雄一1)
 - 1) 藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院 リハビリテーション部、
 - 2) 藤田保健衛生大学 医学部 リハビリテーション医学講座、
 - 3) 藤田保健衛生大学 医療科学部 リハビリテーション学科

S-02 腓腹筋内側頭と外側頭の形態学的特性と機能的特性の違いについて

- 〇吉村 孝之 $^{1)}$ 、種田 智成 $^{1)}$ 、西沢 喬 $^{1)}$ 、尾崎 康二 $^{1)}$ 、山田 勝也 $^{2)}$ 、池戸 康代 $^{3)}$ 、 植木 努4)、曽田 直樹4)
 - 1) 平野総合病院リハビリテーション課、2) 老人保健施設ケアポート白鳳、
 - 3) 岐阜中央病院リハビリテーションセンター、4) 平成医療短期大学

S-03 頚部固有感覚トレーニングが姿勢安定性に及ぼす影響についての研究

- 〇小田 恭史 1 、浅井 友詞 $^{1/2}$ 、若林 諒三 1 、森本 浩之 1 、佐藤 大志 1 、酒井 歩 1 、 梶田 翼1)、水谷 武彦1)、水谷 陽子1)、今泉 司1)
 - 1) 医療法人ミズタニ 水谷病院、2) 日本福祉大学 健康科学部

S-04 体重部分免荷トレッドミル歩行トレーニングが大腿骨近位部骨折後患者に及ぼす効果

- ○牛島 秀明¹⁾、安形 真樹¹⁾、藤本 有香¹⁾、横地 正裕¹⁾、河村 美穂(Dr)¹⁾、 猪田 邦雄(Dr.)2)
 - 1) あさひ病院リハビリテーション科、2) あさひ病院整形外科

主題演題 2 15:10~16:10

会場 B(第2ホール)

「 内部障害系]

座長: 辻 聡浩(JA 三重厚生連松阪中央総合病院)

S-05 単関節運動が非運動肢の動脈伸展性に及ぼす影響

○高木 大輔 1)2)、西田 裕介 2)

1)公立森町病院 リハビリテーション科、2)聖隷クリストファー大学大学院 生体機能理学療法解析学領域

S-06 透析患者に対する透析中のレジスタンストレーニングの効果

―システマティックレビューによる検証―

- ○河野 健 $-^{1)5}$ 、西田 裕介 2 、矢部 広樹 3 、森山 善文 4 、田岡 正宏 5
 - 1) 愛知医療学院短期大学 リハビリテーション学科理学療法学専攻、
 - 2) 聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部理学療法学科、
 - 3) 名古屋共立病院 リハビリテーション診療科、4) 名古屋共立病院 ウェルネスセンター、
 - 5) 名港共立クリニック

S-07 施設入所者における栄養状態と身体機能の関係

- ○加茂 智彦1)2)、西田 裕介2)
 - 1)介護老人保健施設 さくらの苑、
 - 2) 聖隷クリストファー大学大学院 リハビリテーション科学研究科 生体機能理学療法解析学

S-08 継続的なリハビリテーションの実施にも関わらず、心拍変動と自律神経反応が徐々に 悪化した虚弱透析患者の検討

- 〇矢部 広樹 $^{1)2)}$ 、河野 健 $-^{3)}$ 、西田 裕介 $^{4)}$
 - 1) 名古屋共立病院 リハビリテーション診療課、2) 聖隷クリストファー大学大学院、
 - 3) 愛知医療学院短期大大学 リハビリテーション学科理学療法学専攻、
 - 4) 聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部理学療法学科

一般口述 14:00~15:00

会場 B(第2ホール)

「内部障害系]

座長:加藤 倫卓(独立行政法人国立病院機構静岡医療センター)

0 - 01間質性肺炎患者における骨格筋血液組織脱酸素化ヘモグロビンと有酸素能力

- 〇古川 拓朗 1 、有薗 信 $^{-1}$ 、小川 智也 1 、渡辺 文子 1 、平澤 純 1 、三嶋 卓也 1 、 深谷 孝紀 $^{1)}$ 、谷口 博之 $^{2)}$ 、近藤 康博 $^{2)}$ 、田平 一行 $^{3)}$
 - 1)公立陶生病院 中央リハビリテーション部、2)公立陶生病院 呼吸器・アレルギー内科、
 - 3) 畿央大学 健康科学部理学療法学科

0 - 02間質性肺炎患者における外側広筋の骨格筋酸素消費と労作時低酸素血症との関連

- 〇深谷 孝紀 1 、有薗 信 $^{-1}$ 、小川 智也 1 、渡邉 文子 1 、平澤 純 1 、三嶋 卓也 1 、 古川 拓朗¹⁾、谷口 博之²⁾、近藤 康博²⁾、田平 一行³⁾
 - 1)公立陶生病院 中央リハビリテーション部、2)公立陶生病院 呼吸器・アレルギー内科、
 - 3) 畿央大学 健康科学部理学療法学科

0 - 03心理ストレス負荷による慢性炎症に関連する自律神経活動の検討

- ○臼井 晴信¹⁾²⁾、西田 裕介³⁾
 - 1) 市立御前崎総合病院、2) 聖隷クリストファー大学大学院 リハビリテーション科学研究科 博士前期課程、
 - 3) 聖隷クリストファー大学大学院 リハビリテーション科学研究科

0 - 04がん患者に緩和ケアチームが早期介入した1症例から当院の方向性を検討

- 〇辻 量 \mathbf{P}^{1} 、杉原 奈津 \mathbf{P}^{1} 、寺林 大 \mathbf{P}^{1} 、森腰 恵 2 、大下 裕夫 3 、天岡 望 3 、 種村 廣巳3)
 - 1) 医療法人徳洲会 大垣徳洲会病院 リハビリテーション科 PT、
 - 2)医療法人徳洲会 大垣徳洲会病院 リハビリテーション科 OT、3)医療法人徳洲会 大垣徳洲会病院 MD

0 - 05急性期病院におけるがんリハビリテーションの目標設定因子の検討

- ○河合 賢太郎 1 、黒嶋 由紀 1 、石原 祐子 1 、成田 誠 3 、安部 崇 $^{1(2)}$ 、進藤 丈 $^{2)}$
 - 1) 大垣市民病院 リハビリテーション科、2) 大垣市民病院 呼吸器内科、
 - 3) 鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部理学療法学科

0-06 当院における糖尿病透析予防管理料導入に向けての取り組みについて

- ○佐藤 武志¹⁾、眞河 一裕¹⁾、小田 知矢¹⁾²⁾
 - 1) 岡崎市民病院 医療技術局 リハビリテーション室、2) 岡崎市民病院 地域医療連携室

P-86 デジタルカメラを使用した、足部~下腿の3次元解析

○伊藤 真也、富田 豊 藤田保健衛生大学大学院 保健学研究科

P-87 コンパートメント症候群により、脛骨、腓骨神経麻痺を呈した1症例

○木村 創史(RPT)、広瀬 辰巳(RPT)、笛吹 亘(MD) 石川勤労者医療協会 城北病院 リハビリテーション科

P-88 階段降段時のみに不安定性が認められた足関節三果骨折の一例

○和田 満成、松本 正知、赤尾 和則、小牧 亮介 地方独立行政法人 桑名西医療センター 整形外科 リハビリテーション室

ポスター 14 13:00 ~ 14:00

ポスター会場(第1展示室)

「 生活環境支援系]

座長:岸本 泰樹(㈱ザイタック)

P-89 通所リハビリ利用者の主体性を促す取り組みの分析

○三浦 良継1)、大橋 真理1)、遠藤 桂子1)、池田 裕2) 1)介護老人保健施設グリーンヒルズ藤枝 リハビリテーション科、2)現: 鶴巻温泉病院

P-90 ノルディック・ウォーキングと通常ウォーキングの相違についての基礎的検討

○加藤 芳司1)2)

1) 国際医学技術専門学校 理学療法学科、2) 名古屋市立大学大学院 システム自然科学研究科

P-91 高齢者トレーニング教室における動脈機能改善の可能性

―収縮期血圧、脈圧に着目した検討―

○安間 立

引佐赤十字病院 リハビリテーション課

P-92 介護予防通所リハビリテーション利用者の生活空間に関連する因子の検討

〇川村 皓生 1 、万代 浩之 1 、伊藤 洋平 1 、水谷 真康 1 、若山 浩子 1 、加藤 智香子 2 1) 小山田記念温泉病院 リハビリテーションセンター、2) 中部大学 生命健康科学部理学療法学科

P-93 介護予防教室に参加する高齢者の途中不参加となる理由について

○工藤 敬一郎、今村 厚美 四日市市保健所 健康づくり課

P-94 地域在住高齢者に対する運動器の機能向上教室の実践報告

一通所型介護予防事業の委託運営を通して一

1) 医療法人 和光会 介護老人保健施設 清風苑、2) 尾張旭市 健康福祉部 長寿課 地域包括支援センター、

3) 中部学院大学 リハビリテーション学部 理学療法学科

P-95 四日市市における体験型介護予防事業の実施について

○今村 厚美、工藤 敬一郎 四日市市保健所 健康づくり課

大会長基調講演

ф

司 会: 鳥山 喜之(東海北陸ブロック理学療法士協議会 代表理事) (第29回東海北陸理学療法学術大会 大会長)

「 理学療法のポテンシャリティ]

高橋 猛

第28回東海北陸理学療法学術大会 大会長 鈴鹿医療科学大学

日時: 11月10日(土) 13:30~14:00

会場:会場 A(第1ホール)



理学療法のポテンシャリティ

高橋 猛 第28回東海北陸理学療法学術大会 大会長 鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 理学療法学科

理学療法士免許取得者は、凄まじく急増をしている。私は昭和60年(1985年)に理学療法士免許を取得し たが、最初の10年間は「希少価値がある」、「就職先もどこだって可能」ともてはやされていた。しかし、 今では、高校生に「卒業後就職は大丈夫ですか?」と尋ねられる始末である。そこで本講演では、先輩の 偉業・診療報酬の流れ、そして現在の理学療法士を取り巻く医療現場の環境を説明し、理学療法のポテン シャリティをどう高めていくかを述べたいと思う。

先輩の偉業

戦後、世界保健機構(WHO)は、我が国のリハビリテーションに対して近代的技術者が欠如していると指 摘した。その後、理学療法士・作業療法士法が公布され、昭和41年(1966年)に183名の理学療法士が誕生 した。当時、東海地区には、各県士会はなく、愛知県、岐阜県、三重県の三県が一つになり、27名にて日 本理学療法士協会東海支部を結成し、年6回もの研修会を企画していた。昭和44年(1969年)には、第1回 東海理学療法士集談会を開催し、その後、本学術大会の前身である東海北陸理学療法士集談会と1年交代に て開催した。そして、昭和49年(1974年)5月、第9回日本理学療法士学会(全国学会)を古川良三大会長の 強力な指導のもとに名古屋で開催している。加えて、先人らは後進を育てることにおいても重要性を痛感し、 この地域に養成校開設運動を行なったと聞いている。結果、昭和54年(1979年)、国立療養所東名古屋病院 附属リハビリテーション学院が開校した(十五年のあゆみ、愛知県・岐阜県・三重県理学療法士会、1985)。

診療報酬の流れ

昭和56年(1981年)、診療報酬名が運動療法となり、「簡単なもの」・「複雑なもの」と診療報酬の請求が 開始され、当時は「複雑なもの」300点(40分間)であったが、その後右肩上がりに上昇し、平成12年(2000 年) には「複雑なもの」660点、更に発症後14日以内ならば100点加算可能であった。しかし、平成14年 (2002年)「個別療法」、「集団療法」と改定され、「個別療法」1単位250点となり、さらに数年の改定を経 て、現在に至っている。

現在の理学療法士を取り巻く医療現場の環境

今、我が国の理学療法士免許保有者は、平成24年(2012年)6月現在の日本理学療法士協会会員数でいう と77,824名となり、ここ10年の間に会員数だけで45,092名が増加した。しかし、その一方で、我が国の病 床数は、平成22年(2010年)9月現在で、1.601.476床に対して、10年前は1.648.217床と増加はなく、逆に 4万床あまり減少している(厚生労働省調べ)。また近隣職種(鍼灸師・マッサージ師・柔道整復師等)の総 入学定員数は16,147名と理学療法士入学定員数13,366名より多い。また、看護師は、特定看護師制度(仮 称)により、処方権を持つ立場に回ろうという運動も行っているという。

理学療法のポテンシャリティ

学生時代は、我々は国家資格を取るために非常に努力した。しかし、卒業後の学術活動・理学療法士として の社会的、法的、経済的身分のさらなる拡大・社会への啓発活動について十分に自覚しているだろうか。 我々は、近隣の職種と戦える理学療法士となっているだろうか。法律によって守られていることに甘んじて はいないだろうか。皆さんが、先輩の偉業を知り、自分が何をすべきか、理学療法のポテンシャリティすな わち可能性、潜在的な力を再確認し、躍進されるきっかけとなる講演となることを願う。

特別講演

司 会: 髙山 文博(高田福祉事業協会)

لو

赤尾 和則(地方独立行政法人桑名市総合医療センター 桑名西医療センター)

「介護報酬改定と今後の展望」

前園 徹

日本理学療法士協会職能局 介護保険部 部長 上尾中央医科グループ協議会

[診療報酬改定と今後の展望]

吉田 久雄

日本理学療法士協会職能局 医療保険部 部長順天堂大学医学部附属浦安病院

日時: 11月11日(日) 10:30~11:45

会場: 会場 A (第1ホール)



介護報酬改定と今後の展望

前園 徹

日本理学療法士協会職能局 介護保険部 部長 上尾中央医科グループ協議会 リハビリテーション部 部長

今年2012年4月は、診療報酬との同時改定が行われました。2000年に介護保険 制度が施行され介護報酬が設定されてから4回目の報酬改定、2度目の同時改定です。 介護保険制度は、将来の高齢化社会に備えて、1989年ゴールドプラン、その後 の1994年新ゴールドプランを経て、創設されました。この将来とは、戦後の第1 次ベビーブーム世代が2015年に65歳となり、2025年には75歳(後期高齢者)とな り超高齢化社会を迎えること、認知症の高齢者が急増することで介護が必要となる 方が急増する社会をイメージしています。加えて、少子化、核家族化、独居世帯 (特に独居高齢者世帯)増、等に備えるための対策も考えられました。

「介護保険制度」は、リハビリ前置の考えが盛り込まれないままスタートされ、 2005年の改正介護保険法で、介護予防、自立支援がもりこめられ、今回更にリハ ビリ前置回帰へ向けて改定が行われてきております。

今年度の改定は、大きくは3点です。

- ①介護保険料 UP。
- ②介護保険事業計画が市町村ごとから生活圏域ごとに行なわれる。
- ③地域包括ケア整備として、医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスを切 れ目なく一体的に提供すること。

特に、地域包括ケア整備に関しては、以下の点が重要です。

- a. 医療・介護~在宅でみる看護・介護・リハの充実。
- b. 住まい~高齢者の住居(サービス付き住宅、複合型)の整備。
- c. 生活支援サービスを切れ目なく一体的に提供すること~自立と要支援者のサー ビス、地域包括支援センターの機能強化。

更に、理学療法士に関連の深い分野に関して細かくみていくと、地域包括ケアへ の積極的な参入として、①訪問リハ~訪問介護の連携 ②訪問リハの充実~サテラ イト推進 ③ 定期巡回・隋時対応型サービス~ PTOT も一部可 ④ 老健の機能強化 ~在宅復帰率。

医療との連携等として、①医療保険での維持期リハの受け皿~1-2時間通所リ ハの充実 ②通所リハ重症者受け入れ~介護4・5の受け入れ評価③医療との併用~ 2カ月へ延長。

このように、2025年へ向けた地域包括ケアの基盤整備、リハビリ前置にたった 自立支援という大きな動きが出てきています。地域を見据えた活動、他職種との連 携、リハビリテーションの更なる普及が求められています。

このような機会をありがとうございます。2015年、2025年へそして、2055年へ 向けた中長期の取り組みを今回の改定含めて、いっしょに確認する機会となれば幸 いです。



診療報酬改定と今後の展望

吉田 久雄

日本理学療法士協会職能局 医療保険部 部長 順天堂大学医学部附属浦安病院

今回の講演では、以下の点について触れます。

- 1. 平成24年度診療報酬改定での、リハビリテーション料の点数
- 2. 平成24年度診療報酬改定の位置づけ
- 3. リハビリテーション料の変化
- 4. 協会の取り組み(平成24年度改定に向け) 協会長の動き
- 5. 会員の方々に
- すでに、次期平成26年度診療報酬(含、リハビリテーション料)の改定作業は、 始まっています。
- 会員の皆様方は、平成24年度診療報酬改定に合わせた対応を行いつつ、勤務す る施設のリハビリテーション部門の存続を図られていることと思います。

今までリハビリテーション料は診療報酬改定の度ごとに、大きな影響を受けてき ました。そのため診療報酬の改定に合わせ施設側は、生き残るために変化・変化の 連続を強いられてきました。

何故、診療報酬改定の度に、リハビリテーション料は左右されてきたのでしょう か?そしてこれからも、左右されるのでしょうか? (イエス)

しかしながら、理解出来にくい理由によって左右されたくはありません。 出来れば、私たちの要望が実現するような改定にしたいと思います。

• 戦後、国(議員・官僚)が描く未来図は、実現の時期は多少異なるものの、実現 してきました。

今回の診療報酬改定は「平成37年のあるべき医療・介護の姿」を念頭に置いて 取り組みを行うとして、「社会保障・税一体改革成案」の確実な実現に向けた最初 の第1歩であり、「2025年に向け7回の改定で変えて行く」(民主党と政府の合意 から(抜粋))とされました。

これらは、平成37年までには国が描く姿を実現するという意思を明確化したも のと考えられます。

私たちは、このことをしっかりと踏まえて所属する施設管理者(理事長・院長・ 事務長等)に、施設のリハビリテーション部門(理学療法部門)の存続と在り方を 提案出来る理学療法士にならないといけません。

理学療法は、国民の方々の健康・医療・福祉の向上に有益な仕事であり、誇れる 仕事です。理学療法士は残さなければならない職種です。

今回の講演が、「今私たちが行う事は何か」を考えるきっかけなれば幸いです。

プレコングレス

ф

1

司 会:島田 隆明(ユマニテク医療福祉大学校)

スポーツと理学療法 外傷予防から競技復帰まで 理学療法士に何ができるのか

小林 寛和

日本福祉大学

日時: 11月10日(土) 10:20~11:50

会場: 会場 A (第1ホール)

2

司会:田中 紀行(主体会病院)

[日常動作の再学習]

冨田 昌夫

藤田保健衛生大学

日時: 11月10日(土) 10:20~11:50

会場: 会場 B(第2ホール)



スポーツと理学療法 外傷予防から競技復帰まで理学療法士に 何ができるのか

小林 實和

日本福祉大学 健康科学部 リハビリテーション学科

学術大会が開催される頃には、ロンドン・オリンピックでの日本選手の活躍に対 する世間の熱もおさまり、落ち着いた空気の中で、オリンピックにおけるスポーツ の名シーンの数々を思い起こしていることと思う。

我が国ではここ数年来、スポーツ活性化への気運が高まっており、スポーツ活動 の内容も高度化・多様化しつつある。勝つことだけではなく、楽しむこと、健康を 維持すること、様々な目的をもってスポーツ活動を実践する人が増えてきている。

この追い風ともなるように、2011年には「スポーツ基本法」が施行された。こ れは1961年にスポーツ振興法が制定されて以降、50年ぶりの刷新であった。国民 の「スポーツ権」を国家が保証し、競技スポーツ、地域スポーツにおいて国が施 策を行うことが明記されている。障がい者スポーツの推進や、財務保障を含む国際 大会の招致への協力、スポーツ庁等の設立にも言及している。

理学療法士によるスポーツへのかかわりも、医療機関でのリハビリテーションは もちろんのこと、スポーツフィールドにおけるアスリートへのリコンディショニン グや再発・外傷予防の実践等、その機会は年々増加しているように感じる。

スポーツ分野で理学療法士が担う役割は、対象者が十分なスポーツ活動を実践す るための身体機能を得ることにあり、現状では運動器への対応が主となっている。 対象者が取り組む競技種目における外傷発生機転の分析と、個々の機能的特徴・問 題の抽出から改善策を導く過程は、理学療法士の専門性が発揮されるところである。

理学療法士の知識・技能を活かした取り組みへの評価と期待は高まってきている。 機能評価から得る情報に基づいて機能の改善をはかり、対象者を安全性と効率性を 兼ね備えた状態でスポーツ復帰へと導くだけではなく、その貢献は近年ではスポー ツパフォーマンスの向上や、大がかりな外傷予防対策等にも及んでいる。

今後、スポーツと理学療法士のかかわりは拡がり、対応すべき場面も増えると予 測される。対象層はスポーツ活動の実施目的の多様化とも相俟って、高齢者や小児 に至るまで拡大し、疾患も運動器疾患が大多数の現状にとどまらず、循環器、呼吸 器、神経系の問題、女性の健康問題等々と増していくことになろう。活動の場とし ても、スポーツフィールドはもとより、フィットネスクラブやスポーツ公共施設にも 拡がり、さらには学校や企業で運動指導等を行うことも現実的なところである。

本学術大会の機会に、スポーツと理学療法士のかかわりの現状について解説をし たい。また、今後の活動に関する展望にも触れていきたい。



日常動作の再学習

冨田 昌夫

藤田保健衛生大学 医療科学部 客員教授

概略

字を書く時、字を書こうと意図して、何という字を書くか決まりさえすれば、半 ば自律的に手が動き、ペンを握って横や縦の線を引いてしまう。ペンを持つ、線を 引くなどの動作は「字を書くという行為に先導される」あるいは「字を書くとい う行為の背景となる」という。通常、字を書こうと意図した時、意図した動作が 先導し、意図した動作の背景となって立ち現れる動作を意識することはない。何か をしようとするとき、必ずその背景となり、半ば自律的に立ち上がってくるような 動作、ヒトであれば誰もがあたりまえに行い、できなくなると生活に困るような動 作を日常動作と呼び、他の動作と区別する。

運動学習というとき、一般には、今回の例えでいうなら「字を書く動作や行為」 の練習をすること、つまり日常動作を背景として、日常動作を先導して行う動作や 行為(大脳皮質で意識して行う行動)の学習をさしている。この時、先導するとい う意味は「やろうと意識した動作や行為を既に蓄えられている知識やそのとき入 手した情報に基づいてイメージし、イメージした内容を下位となる日常の運動や動 作に分解して、それらをどのような手順で、どのようなタイミングでどの方向に、 どの位の強さや大きさで動かすかプラン・プログラムし、トップダウン的に実行す ること」である。下位となる日常動作がまがりなりにもできるときには極めて効 率の良い運動学習の仕方であると思われる。しかし、日常動作ができない時、この 学習法は利用できない。

日常動作の学習に際しても、日常動作を意識して、一見、その動作と同じように 見える行動をトップダウン的に学習することは可能である。しかし、このように学 習した動作は、あくまで動作であり、無自覚に立ち上がる日常動作とはなりきれな い。呼吸や脈拍を意識せずとも、活動内容に応じて自律的に調整できるのと同じよ うに、日常動作はやろうとしている動作や行為に合わせて環境が適応的に提供する 意味や価値(アフォーダンス)に基づいて半ば自律的に立ち上がってくるものなの である。すでにある知識や情報に基づいてトップダウン的に行う動作ではない。環 境に働きかけアフォダンスに基づいてその場で運動や動作を生みだす(自己組織化 する)のである。このような日常動作も運動や筋緊張を先導するが、この時の先導 という意味は、すでに持っている知識に基づいて先導するのではなく、今受け取っ ているアフォダンスに即して、ダイナミックに、今必要な運動や構えを感覚的に調 整することである。このような動作の仕方を知覚循環とよぶ。日常動作の学習には、 この知覚循環に基づいた学習が不可欠なのである。

アプローチ

知覚循環に基づいた学習を実現するためには自分や環境の変化に気づくことが重 要になる。気づくためには動いて変化を作れなければならない。つまり、動ける身 体を作るために筋緊張を整え、バランス戦略を調整できる必要がある。ローカルな 関節の安定筋の活動を改善、維持させ、知覚システムの再協調を促し、探索できる 身体の構築に腹臥位という姿勢の重要性を主張してみたい。

市民公開講座

لو

司 会: 奥山 夕子(藤田保健衛生大学七栗サナトリウム)

[健康で美しくあるために]

武田 美保

元女子シンクロナイズドスイミング日本代表選手

日時: 11月11日(日) 14:10~15:40

会場:会場B(第2ホール)



健康で美しくあるために

武田 美保 元女子シンクロナイズドスイミング日本代表選手

美容も健康も、自分の体を内側から感じることが大切です。

私は、心と体が「一番心地よいと感じられる自分」のイメージを持つようにし、 そこに近づけられるように日々心がけています。方法の一つとして、私はピラティ スを取り入れているのですが、姿勢や代謝が改善され、肌までキレイになりました。 講演の中でも、椅子に座ったままおこなえるピラティスを聴講者の方々に体験して もらい、手軽にできる健康術をご紹介します。

一プロフィールー

1976年京都府・京都市生まれ。7歳からシンクロコースに入門し、13歳で ジュニアの日本代表に入る。17歳でナショナルA代表入り、1997年より 立花美哉さんとデュエットを組み、日本選手権7連覇を果たし、アトラン タ、シドニー、アテネオリンピックで計5個のメダルを獲得。引退後は、 CM への出演やピラティスのインストラクターとして活躍し、マッスル ミュージカル出演をはじめエンターテイメントショーに挑戦。

2007年夏には、ユーミン(松任谷由実)のスペクタクルショー「シャング リラⅢ | に世界水泳メルボルン大会でソロ三連覇を達成した、フランスの ビルジニー・デデューと出演した。

2010年4月、厚生労働省認可資格「肥満予防健康管理士(ダイエットアド バイザー)」を取得。同時に、三重県で小中学生を対象にシンクロの指導 をはじめ、2011年に生徒が初のジュニアオリンピックに出場。ジュニアの 育成にも力を入れている。

2011年10月1日、三重大学特任教授就任。大学では「スポーツと社会連 携」や「セカンドキャリアのシステム」に関する講義を受け持つ。

現在は、オリンピックの経験をはじめ、美容・健康管理面をテーマにした 講演や講義、執筆なども積極的に行い、全国各地でマルチな活動を展開し ている。

教育セミナー

教育セミナー 1(運動器系) **11**月 **10**日(土) 16:30~18:00

会場 A(第1ホール)

司会: 能谷 匡晃(JA 三重厚生連鈴鹿中央総合病院)

[運動器超音波が時代を変える ~超音波解剖と運動療法との接点~]

林 典雄(中部学院大学)

教育セミナー2(内部障害系) **11**月**10**日(土) 16:30~18:00

会場 B (第2ホール)

司会:野呂 陽子(地方独立行政法人三重県立総合医療センター)

□ 高齢心疾患患者に対する理学療法□ ~何を評価し、どう解釈し、何を行うか~

高橋 哲也(東京工科大学)

教育セミナー**3**(生活環境支援系) **11**月**10**日(土) 16:30~18:00 会場 **C**(第3ホール)

司会: 白石 成明(日本福祉大学)

「 わが国 在宅リハビリテーションの未来 ~10年後に向けて在宅リハで療法士が求められる資質~

塩中 雅博(ポシブル医科学株式会社)

教育セミナー 4 (神経系) 11月11日(日) 14:10~15:40

会場 A(第1ホール)

司会:大橋秀樹(長島中央病院)

「潜在的可能性を顕在化する]

吉尾 雅春(千里リハビリテーション病院)

教育セミナー 5(がんのリハビリテーション) **11**月 **11**日(日) 14:10~15:40 会場 **C**(第3ホール)

司会: III用高十郎(JA = 重厚生連松阪中央総合病院)

「 がんの理学療法 ~病態理解と体力コンディショニング~]

増田 芳之(静岡県立静岡がんセンター)

ポスター14 [生活環境支援系]

P-95 四日市市における体験型介護予防事業の 実施について

○今村 厚美、工藤 敬一郎 四日市市保健所 健康づくり課

キーワード:体験型介護予防教室、自主活動団体、一次予防事業

【目的】四日市市保健所では、一次予防事業として介護予防教室及び年間を通しての自主活動団体の育成・支援事業、介護予防ボランティア養成の他、介護予防の意識付けを目的として地域の団体に働きかける体験型の介護予防教室を開催している。他の自治体の活動をみると自主活動団体を広報誌で広く募集したり、保健師の活動の中で自主的に活動できる可能性のある団体を拾いあげたりしているが、当課のように事業として実施しているところは少ないため、今回紹介することにした。

【方法】体験型介護予防教室の周知については、平成23年度は地区社会福祉協議会の役員が集まる場へ職員が出向いて説明を行い、当課より既存の団体へ直接声掛けを行い周知に努めた。希望のある団体に対して、1団体につき2回程度、職員を派遣して体操パンフレットを配布し、実際の介護予防教室の体験をして頂いた。また、関わる中で自主活動団体育成支援事業の進め方や機器の準備や団体の中におけるリーダーの役割についての説明を行った。

【結果】結果として、平成23年度は興味を示した10団体からの希望があった。参加実人員は238名であり、1団体当たり23.8名の集まりがあった。申し込みのあった10団体に、実際の体操を体験してもらい、次年度の自主活動育成・支援事業への申し込みを促した。その結果、8団体が平成24年度の自主活動育成支援事業へ申込んでもらうことができた。

応募を見合わせた2団体については、「健康づくり課が養成している介護予防ボランティアの関わりが見込まれるため自分達が体操を覚えてまで実施する必要が無い」という考え方の団体ともう1団体は「今後の予定の見通しが立たない」と理由であった。

【考察】当事業の目的として、実際の介護予防教室の体験を通して、今後の自主活動について理解してもらい、自主活動団体として活動するための意識付けを行い、また、申込み前にこちらで団体の特徴を把握して適宜アドバイスを行う必要もある。介護予防教室を立ち上げられない団体からは、「実践したいのだが、やり方がわからない」や「DVDやテープだけでは、やる気が起きない」等の声があった。

体験型介護予防教室は、介護予防教室を立ち上げられない 団体に関わりながら、このような不安を払拭して、職員が実施状況の説明を行い、方向性を示していく役割を担っている。 【まとめ】自主活動組織の育成・支援については、地域支援 事業実施要綱の地域介護予防活動支援事業のメニューとして 記載されている。

広く事業を実施していくには、一般的に広報誌での募集が多いが、地域の特色により住民の活動が積極的な地域や高齢者世帯が多く、且つ団体の活動が少ない地域等様々である。特に高齢化が進んでいる地区や、活動の乏しい地区をピンポイントに狙って地区回覧等で周知を行い、在宅介護支援センター職員との連携を持ちつつ、必要に応じて進めていくのも一手段である。

賛助・協賛ご芳名

(敬称略、順不同 平成24年9月10日現在)

【協 賛】

医療法人社団主体会 主体会病院

医療法人社団 山中胃腸科病院

医療法人松徳会 花の丘病院

医療法人尚豊会 みたき総合病院

医療法人博仁会 村瀬病院

医療法人誠会 山崎病院

特定医療法人 岡波総合病院

介護老人保健施設 みえ川村老健

(株)グリーンタウン呼吸嚥下ケアプラニング

株式会社 戸田医科器械店

公益社団法人 四日市医師会

社会福祉法人恩賜財団 済生会松阪総合病院

自然の里整骨院

社会福祉法人 鈴鹿聖十字会

社会福祉法人高田福祉事業協会 高田光寿園

市立伊勢総合病院

社会医療法人峰和会 鈴鹿回生病院

玉城町国民健康保険 玉城病院

中部リハビリテーション専門学校 同友会

有限会社 ALL 地域リハネットワーク

訪問看護リハビリステーション手のひら

訪問看護リハビリステーションあすか

- 三重県厚生農業協同組合連合会 松阪中央総合病院
- 三重県厚生農業協同組合連合会 いなべ総合病院
- 三重県厚生農業協同組合連合会 大台厚生病院
- 三重県厚生農業協同組合連合会 南島メディカルセンター

医療法人 MSMC みどりクリニック

【広 告】

イオンリテール株式会社

伊藤超短波株式会社

学校法人協栄学園

伊勢志摩リハビリテーション専門学校

学校法人協栄学園

伊勢志摩中央リハビリテーションセンター

医歯薬出版株式会社

医療法人珪山会 中部リハビリテーション専門学校

医療法人 佐藤クリニック

医療法人思源会 岩崎病院

医療法人社団主体会 小山田記念温泉病院

医療法人社団明徳会 静岡医療科学専門学校

インターリハ株式会社

おおすみ整形外科

介護老人保健施設 みえの郷

学校法人セムイ学園 東海医療科学専門学校

学校法人東洋学園 国際医学技術専門学校

学校法人電波学園 あいち福祉医療専門学校

学校法人西大和学園 白鳳女子短期大学

学校法人原学園 専門学校 白寿医療学院

学校法人佑愛学園 愛知医療学院短期大学

株式会社いきいきヒューマンネット

株式会社 医学書院

株式会社 ウエヤマ

株式会社 松本義肢製作所

株式会社 中山書店

株式会社 南江堂

株式会社 日本メディックス

佐々木整形外科

鈴鹿医療科学大学

学校法人名古屋石田学園 星城大学

専門学校 星城大学リハビリテーション学院

専門学校 ユマニテク医療福祉大学校

名古屋学院大学

日本ケアシステム株式会社

藤田保健衛生大学七栗サナトリウム

三重県厚生農業協同組合連合会 鈴鹿中央総合病院

ヤナセメディケアグループ

(医療法人 碧会、社会福祉法人 寿泉会)

【機器展示】

アスタリール株式会社

伊藤超短波株式会社

インターリハ株式会社

オージー技研株式会社 名古屋支店

キヤノンライフケアソリューションズ株式会社

株式会社 ケープ

株式会社 小山商会

株式会社 日本メディックス

株式会社 ベルテック・ジャパン

近鉄スマイルサプライ株式会社

合同会社 gene

CYBERDYNE 株式会社

酒井医療株式会社

タック株式会社

帝人在宅医療株式会社

ミナト医科学株式会社

山一株式会社

【共催セミナー】

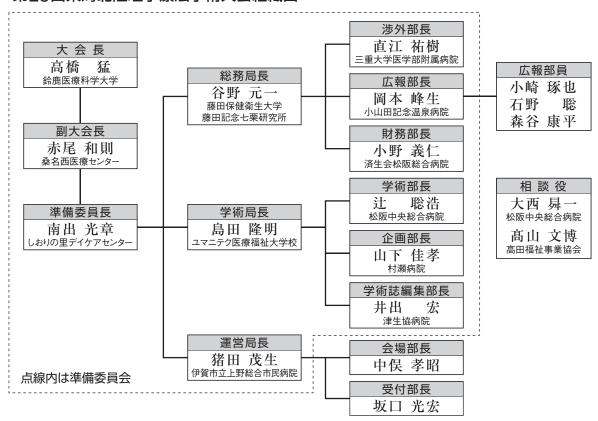
インターリハ株式会社

鈴鹿医療科学大学

三重県理学療法士会

【書籍】

ワニコ書店



運営スタッフ一覧 平成24年8月29日現在

(五十音順)

青山	満喜	赤尾	和則	明星	隆希	芦田	勝文	石田	典子	石野	聡
						, , ,					
石原	諭	猪田	茂生	一色	高彰	井出	宏	伊藤	隆浩	伊藤	卓也
伊藤	利一	伊藤	三幸	伊藤	洋平	岩谷	美紀	上嶋	良	榎下	綾乃
大市	剛士	大形	弘樹	大橋	秀樹	小笠原	原幹子	岡嶋	正幸	岡部	光晃
岡本	峰生	奥村	祐介	小野	義仁	小原	史嗣	金森	慎一	上之统	郎由希
亀井	清香	河合	秀哉	川面	博哉	岸本石	有紀子	桑原	健太	小崎	琢也
小林美	寿季	小林	佳史	小柳	芳樹	榊	翔太	坂口	光宏	坂倉	充彬
佐藤志	穂美	島田	隆明	白井	瑞樹	杉本	直紀	鈴木	友美	鈴木	寛之
大藤	正登	高橋	和久	高橋	猛	高橋	照明	高山	茂之	館	友基
田中	大介	田中	千陽	田中	秀明	谷野	元一	辻	聡浩	堤原	恵志郎
伴野	真吾	豊田	芳典	直江	祐樹	中井	隆人	中井	貴大	中井	里奈
中島	由季	中野	貴公	中俣	孝昭	中村	絹代	成田	誠	野首	清矢
野々山	紗矢果	野呂	陽子	長谷月	亮	花井	千夏	番條	友輔	万代	浩之
樋口	大貴	前田	幸子	間島	展華	松井	彩乃	丸山	高志	水野	千
南出	光章	南	隼人	三村	直樹	宮岡	千恵	村瀬作	弋里子	森	清隆
森谷	康平	森脇	龍太	保田	智子	山際	崇弘	山口	和輝	山口&	かぐみ
山下	佳孝	山田	晋平	山田田	高士郎	山中	大樹	山本	剛生	山本	吉則
雪岡	陽	吉田	奈央	和田	満成						

大 会 誌

大 会 長:高橋 猛(鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 理学療法学科)

編集責任者: 井出 宏(津生協病院)

事 務 局:〒514-0826 三重県津市野田2033-1

しおりの里デイケアセンター内

TEL: 059-239-1317 FAX: 059-239-1320

e-mail: mieptkyoukai@yahoo.co.jp

出版: **Second** 株式会社セカンド http://www.secand.jp/

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL: 096-382-7793 FAX: 096-386-2025